

平成22年7月28日

文化財総合的把握モデル事業 中間報告会

# 太宰府市歴史文化基本構想

---

●太宰府市民遺産活用推進計画●

# 『太宰府市歴史文化基本構想』

## ■2つの柱

1 市民が大事にしたい「太宰府」を調べて記録し、その情報を広く公開し活用する。

2 市民が大事にしたい「太宰府」を、多くの市民で共有し、育成(保護)する。



### ■「市民遺産」の考え方

核となる文化遺産 (時に関連する文化遺産群も含む)  
+ 守り育てる人々の活動



## ■市民が大事にしたい「太宰府」



- 子どもの頃遊んだ川
- ホタルが棲む川
- 40年続く団地の夏祭り
- 伝菅原道真侍従の墓
- 四王寺山の古道
- 移動図書館
- 道ばたの山桜
- 梅を植えること

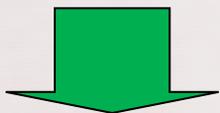
・  
・  
・

- 子どもの頃放流した鯉の棲む川
- 宝満山が見える思い出の場所
- 四王寺山の美しい眺望点



# 文化財保存活用(管理)計画の策定

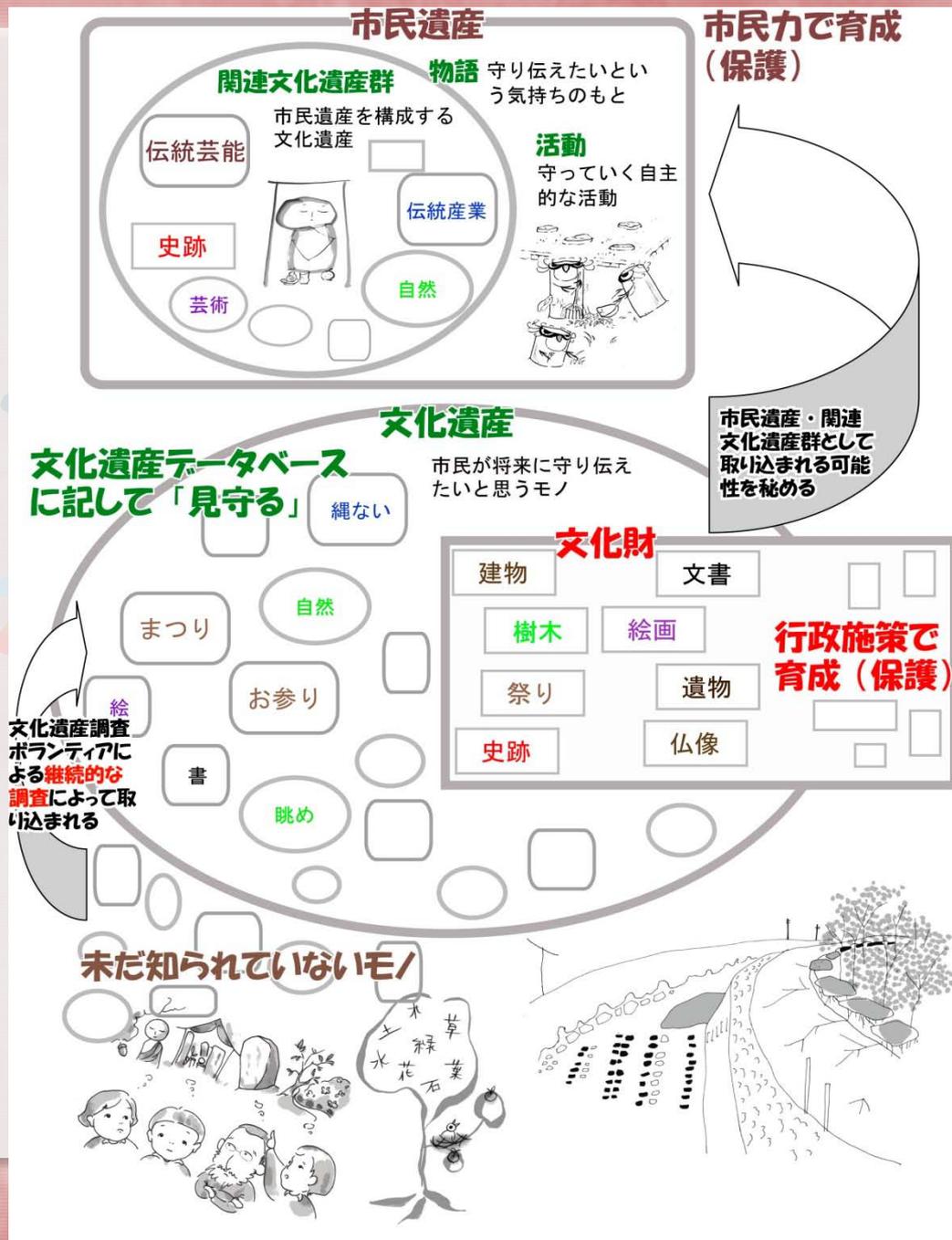
市民が大事にしたい「太宰府」



文化財もあれば、文化遺産もある

みんなまとめて見守りたい

●様々な方法で、「見守る」



# 歴史文化保存活用区域

## ■基本的な考え方

○育成(保護)される対象物(文化遺産・文化財・市民遺産)の価値と**活力(市民力)**を損なわない範囲

○3つの素材を使って、つくろうとしている制度を検討してみる

- さいふまいり
- 吉松を支え、吉松に支えられた人々の物語
- 霊峰 宝満山

### ■「市民遺産」の考え方

核となる文化遺産(時に関連する文化遺産群も含む)  
+ 守り育てる人々の活動



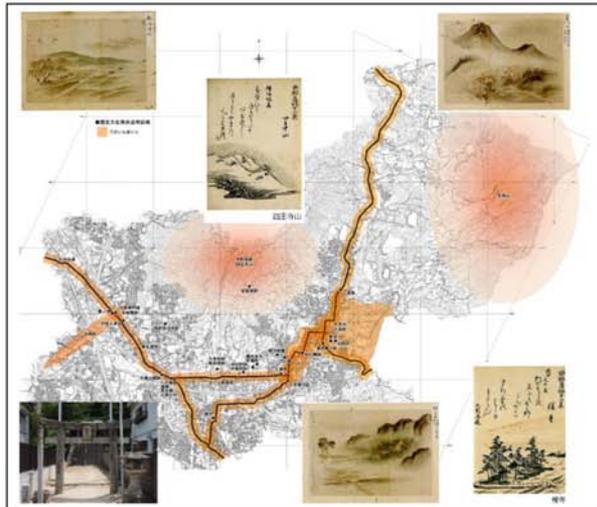
## 太宰府市景観・市民遺産を証拠づける文化遺産の概要

名称	さいふまいり
----	--------

## ●ストーリー

太宰府参詣は江戸時代から「さいふまいり」と呼ばれていた。さいふまいりは文道の神、学問の神、としての信仰を集めた太宰府天満宮へ参詣することとともに、様々な紀行文に立ち寄った太宰府の名所・旧跡が記されるなど、「西府」である太宰府周辺の名所や旧蹟をめぐり、歴史や文化に触れる遊山の色彩を色濃く帯びていたことが分かる。

さいふまいりの「さいふ」は太宰府のことであるが、地名の「宰府」と、都（みやこ）から西にある都督府である「西府」の意味も含んでいた。平安時代にはどちらも「本朝文粹」や「百練抄」、「菅家後集」の中に現れる。



※記入方法は自由。地図や写真等を用いてわかりやすく示すこと。

## 太宰府市景観・市民遺産を証拠づける文化遺産のリスト

番号	名称	所在地	育成する文化遺産
1	参詣道		○
2	街道沿いの街並み		○
3	道導		
4	旅籠		
5	旅籠に泊まった人		
6	三浦の碑	五条1丁目	○
7	構口	五条1・2丁目	
8	筑紫紀行	国立国会図書館蔵	
9	筑前名所図会	福岡市博物館蔵	
10	太宰府旧蹟全図北	福岡県太宰府市(個人蔵)	
11	博多太宰府図屏風	九州歴史資料館寄託	
12	賽の神	水城1丁目	
13	衣挂天満宮	国分2丁目	
14	閑屋の鳥居	坂本1丁目	
15	都府楼跡	観世音寺4丁目	
16	観世音寺	観世音寺5丁目	
17	四王寺山	大字太宰府	
18	土産物屋		
19	梅ヶ枝餅		
20	宰府うどん		

太宰府市景観・市民遺産を証拠づける文化遺産の概要

名称	吉松を支え、吉松に支えられた人々の物語
----	---------------------

●ストーリー

吉松の農業の基礎をつくった熊田勇吉氏【明治39年 38歳死去】・浅川甚次郎氏【明治43年 44歳死去】の活動に関する物語と、吉松の人々に支えられた彫刻家富永朝堂氏、および日蓮宗僧侶高鍋日統氏が残した「感謝」の物語



※記入方法は自由。地図や写真等を用いてわかりやすく示すこと。

太宰府市景観・市民遺産を証拠づける文化遺産のリスト

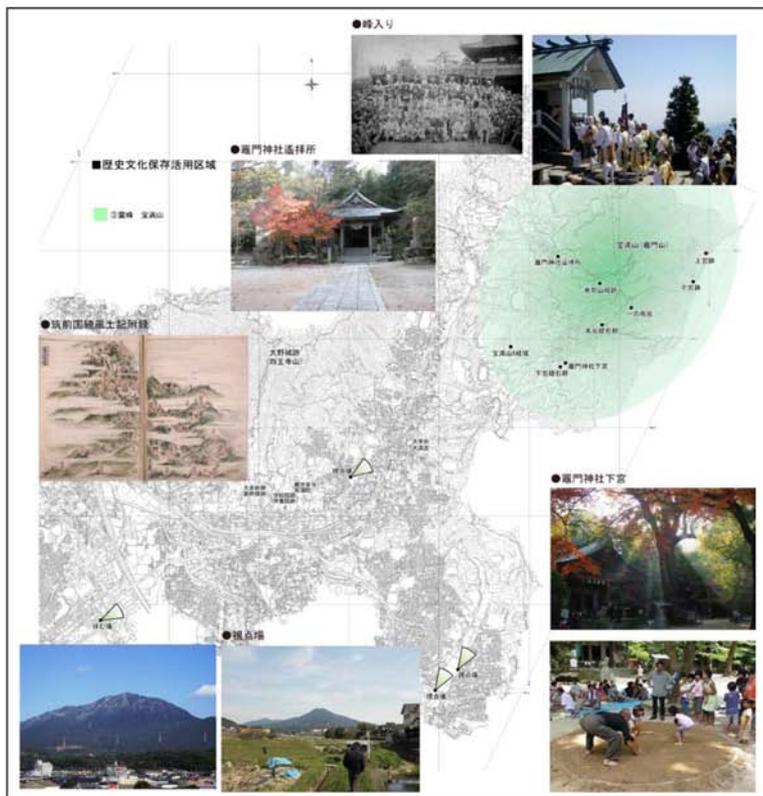
名称		吉松を支え、吉松に支えられた人々の物語	
番号	名称	所在地	育成する文化遺産
1	熊田勇吉氏顕彰碑	太宰府市吉松	○
2	浅川家墓	太宰府市吉松	○
3	宝満・八幡宮	太宰府市吉松	○
4	宮座		
5	注連縄づくり		
6	お潮井採り	太宰府市吉松	
7	ダブリュー	太宰府市吉松	
8	古溪大明神	太宰府市吉松	
9	観音堂	太宰府市吉松	
10	水城院跡	太宰府市吉松	○
11	高鍋日統		
12	高鍋日統氏作品	太宰府市吉松・向佐野	○
13	花見の場	太宰府市吉松	
14	富永朝堂		
15	富永朝堂氏作品	太宰府市吉松・向佐野	○
16	夏まつり		○
17	庚申塔	太宰府市吉松	
18	旧道	太宰府市吉松	
19			
20			

## 太宰府市景観・市民遺産を証拠づける文化遺産の概要

名称	霊峰 宝満山
----	--------

## ●ストーリー

太宰府の鬼門を抑える役目として伝えられてきた宝満山の祭祀は、その後竈門神社、大山寺の形成や修験の山など様々な姿をとりながら、古くから人々の信仰を集めてきた。これらを物語るように、様々な記録、遺跡、行事が残され、宝満山が歩んできた様々な歴史を物語る証拠が、今も息づいている。また、宝満山は、山本体のみならず霊峰として拝み、眺める山として市内各所から見えることも大切であり、「礼拝の場」「視点場」としての市内各所を守ることも含まれている。



※記入方法は自由。地図や写真等を用いてわかりやすく示すこと。

## 太宰府市景観・市民遺産を証拠づける文化遺産のリスト

名称		霊峰 宝満山	
番号	名称	所在地	育成する文化遺産
1	宝満山	太宰府市・筑紫野市	○
2	竈門神社上宮	太宰府市大字北谷	○
3	竈門神社中宮	太宰府市大字内山	○
4	竈門神社下宮	太宰府市大字内山	○
5	竈門神社遙拝所	太宰府市大字北谷	
6	下宮礎石群	太宰府市大字内山	
7	竈門岩	太宰府市大字北谷	
8	心蓮上人(墓)	太宰府市大字北谷	
9	続日本後紀		
10	延喜式		
11	竈門山宝満大菩薩記	神奈川県横浜市(称名寺)	
12	太宰府旧蹟全図北	福岡県太宰府市(個人蔵)	
13	九州道記		
14	宝満山修験会		
15	峰入り行		
16	大護摩供		
17	筑前琵琶「竈門山」		
18	有智山城跡	太宰府市大字北谷	
19	礼拝の場での眺望	太宰府市大佐野ほか	
20	視点場	太宰府市高雄1丁目ほか	

## 太宰府市景観・市民遺産の育成プラン

名称	霊峰 宝満山
----	--------

- 宝満山に関わる文化遺産を調査します。

宝満山に関わる人・モノ・物語について調査を行い、文化遺産データベースの充実を図ります。

- 市民を対象にした史跡巡りを開催し、世代間のコミュニケーションに生かします。

取得した文化遺産情報について、関係する地域への普及活動を行います。

- 環境整備（清掃・修景など）を行います。

可能な範囲で、宝満山に関わる文化遺産の清掃・修景を行います。

- 協働活動として、区民と協力し維持活動を行っていきます。

地元住民との意識共有を図り、地元で行われる環境整備事業に参加し、協力し合って進めていきます。

- 説明標識などを設置します。

来訪者に文化遺産情報を伝えるために、解説板などの設置を関係機関と協議を行いながら進めます。

- 宝満山を望み祈る場の眺望を守ります。

宝満山を見通し、祈る場が市内に点在し、それらの場所から宝満山を見通すことも必要であり、それらを含めた宝満山を見通す場、お奨めの場所の景観を伝えていきます。

# 育成プラン

- 市民がつくる

- 市民で共有する

- 市民がつながる

- 市民が活かす

- 市民が生きる

# 太宰府市歴史文化基本構想

## ■目指そうとしていること

- 人と人との結びつきを取り戻したい
- 人とモノの結びつきを取り戻したい

**気持ちよく、安らげる暮らしを取り戻したい**

**かつて、人々が大切に引き継いできたモノ/  
大切にしたい「太宰府」を活かして**

**人を育み、まちを育み  
暮らしを育む**